

Q10. 高校生の通信教育利用率

	合計	一回目調査					無回答	合計	二回目調査					無回答
		現状よりかなり増える	現状よりやや増える	現状とほぼ変わらない	現状よりやや減る	現状よりかなり減る			現状よりかなり増える	現状よりやや増える	現状とほぼ変わらない	現状よりやや減る	現状よりかなり減る	
合計	104	23	34	28	12	2	5	200	33	111	39	13	-	4
	100.0	22.1	32.7	26.9	11.5	1.9	4.8	100.0	16.5	55.5	19.5	6.5	-	2.0
性別														
男	96	21	31	27	10	2	5	184	26	103	39	12	-	4
	100.0	21.9	32.3	28.1	10.4	2.1	5.2	100.0	14.1	56.0	21.2	6.5	-	2.2
女	8	2	3	1	2	-	-	16	7	8	-	1	-	-
	100.0	25.0	37.5	12.5	25.0	-	-	100.0	43.8	50.0	-	6.3	-	-
年齢														
20才代	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
30才代	6	2	3	-	1	-	-	11	2	8	1	-	-	-
	100.0	33.3	50.0	-	16.7	-	-	100.0	18.2	72.7	9.1	-	-	-
40才代	17	6	5	4	-	-	2	43	7	24	9	3	-	-
	100.0	35.3	29.4	23.5	-	-	11.8	100.0	16.3	55.8	20.9	7.0	-	-
50才代	14	4	4	4	2	-	-	37	6	22	5	3	-	1
	100.0	28.6	28.6	28.6	14.3	-	-	100.0	16.2	59.5	13.5	8.1	-	2.7
60才代	40	5	14	11	7	1	2	66	13	31	17	4	-	1
	100.0	12.5	35.0	27.5	17.5	2.5	5.0	100.0	19.7	47.0	25.8	6.1	-	1.5
70才代	23	4	7	9	2	-	1	37	3	25	5	3	-	1
	100.0	17.4	30.4	39.1	8.7	-	4.3	100.0	8.1	67.6	13.5	8.1	-	2.7
80才代	2	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-
90才代	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
	100.0	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0

Q10. 2010年における「高校生の通信教育利用率」はどのくらいの水準か？



第1回調査結果 現状よりやや増える【32.7%】現状とほぼ変わらない【26.9%】  
現状よりかなり増える【22.1%】現状よりやや減る【11.5%】

「現状よりやや増える」が55.5%と第1回調査に比べ20ポイント近く多くなっている。この結果、「ほぼ変わらない」「かなり増える」は相対的に少なくなっているが、全体の予測傾向は第1回調査に準拠した形となっている。

<自由回答まとめ(1回目調査)>

Q10. 2010年の高校生の通信教育利用率の水準予測

Q10-A. 予測の理由・根拠

[現状より増えると思う理由]

- ・家庭のOA化が進むため。
- ・通信教育が多様化するため。
- ・高校生の高校に対する信頼度が低下するため。
- ・メディア選択の能力が増大するため。
- ・就学機会が多様化するため。
- ・一般にマルチメディアが発展するため。
- ・インターネットの、時代的変化が生まれるため。
- ・教育ソフトが進歩するため。

[現状と変わらないと思う理由]

- ・日本人はあまり大きな変化は望んでいないため。
- ・通信教育の魅力が増えるとは思えないため。
- ・通信教育には限界があるため。
- ・通信教育は補助的な意味でしかないため。
- ・他のメディアによる勉強方法が増えるため。

[現状より減るとする理由]

- ・大学進学率が減少するため、通信教育そのものの利用が減るため。

Q10-B. その結果、何が最も変わるか

[現状より増えた場合]

- ・登校拒否が起こる。
- ・塾より家庭で勉強する傾向が増える。
- ・受講生の水準が向上する。
- ・有名校依存が低下する。
- ・通信教育のシステム化が進む。
- ・スキンシップや友情などの情緒面に問題を生じる。
- ・機械的思考へ著しく移行する
- ・不登校生徒への学習方法が提案できるようになる。
- ・中退者が増える。

[現状より減った場合]

- ・学習スタイルに影響が出る。